



社会福祉協議会

尾崎支部だより

No.51

平成25年2月1日発行

各務原市社会福祉協議会

尾崎支部 広報事業委員会

歳末地域福祉座談会

毎年恒例となっております各務原市社会福祉協議会尾崎支部が主催する「歳末地域福祉座談会」が12月9日(日)、尾崎中央ふれあい会館において開催されました。

社協尾崎支部は当座談会を、主催する数ある事業のなかでも最重要な事業であると位置づけ、業務内容を検討し福祉委員の方々を含めたスタッフ全員で役割を分担し、運営に当たりました。参加者は運営スタッフを含めて105名でした。

当日は、社協尾崎支部 深田支部長の開会挨拶に続き、午前のプログラム「地域の福祉力を高めるために」のテーマに沿って、苅谷事業委員長以下4名の福祉委員の司会進行により自由討論を行いました。

助言者として、各務原市市議会議員 古田澄信様、尾崎自治会連合会会長 板津重信様、市社協事務局 浅野茂之様、市社協事務局主任主事 土屋直樹様、地域包括支援センター 佐藤浩子様、木元美千代様、尾崎緑風会連合会会長 川越正義様、北町ゴールドクラブ会長 山田弘二様、北洞第一長生会会長 青山忠愛様、以上の皆様にご出席頂きました。



社協尾崎支部 大竹副支部長の閉会挨拶により閉幕となりました。

皆様から寄せられたご意見、ご提案を今後の社協尾崎支部の活動に反映させていきたいと考えております。

今後とも、ご支援、ご協力頂きます様よろしくお願い致します。お忙しい中ご参加頂きまして、誠にありがとうございました。



「ささえて ささえられて みんなが主役のまちづくり」

おざきフェスティバル2012 福祉コーナー

10月14日に開催された「おざきフェスティバル2012」で、社協尾崎支部が今年度初めて「福祉コーナー」を開設しました。

『福祉介護よろず相談』では、プライバシー保護のため、周囲から目隠しをした相談ブースを設けました。相談依頼は4件でしたが、展示コーナーで立ち話をしながらのアドバイスが多数ありました。相談員は、地域包括支援センターの専門員があたりました。



福祉コーナー全景 左から体験コーナー、よろず相談、展示コーナー

『介護福祉用具展示』には、展示物に自由に触ったり試したり出来たのが好評で、特に杖などの転倒防止用具の関心が高く、価格や購入方法の問い合わせが多くありました。また、聴力測定には多数来場して頂き順番待ちとなるほどで、会場撤収時も測定中ということになってしまいました。



疑似体験セットを装着して階段の昇降

『高齢者疑似体験』は、ゴーグルを着けた状態(白内障や加齢による視野狭窄)に驚き、「うちのじいさんはもっと見えると思うが」とか、「うちのおばあちゃんはこんなに歩きにくいのだろうか?」といった感想が聞かれました。運営者も疑似体験装着サポートは初経験でしたが、事前に装着やサポートの練習をしたので、スムーズに運営出来ました。なかには「ちょっと不自由だったけど、優しくサポートしてもらえて嬉しかった」と言う体験者もありました。

すべてが初めてのことでしたので、「福祉コーナー」が開設されていること自体が十分PRされて



展示コーナー 歩行補助具の説明

いなくて、後から話しを聞いて体験したかったという人もありました。なお、市社協事務局によると、市民運動会などの地域親睦行事で、「福祉コーナー」のような活動をしている他支部は無いとのこと。また市社協のホームページに「福祉コーナー」の様子が紹介されていますので、ご覧ください。

編集 社協尾崎支部・広報事業委員会
小川美栄子、陰山豊子、鎌田夕喜子
(担当副支部長) 栗本匠

「ふつらの 心を あわせに」

尾 崎自治会連合会と共催の「敬老のつどい」が9月17日(敬老の日)に尾崎小学校体育館で行われました。この行事は福祉委員が中心に担当し、事前に地域福祉事業委員会を開いて業務の分担を決めました。福祉委員は、常任理事とともに前日の準備を行い、当日は駐車場係、受付係、案内接待係などの業務を分担し、自治会長さん達と一緒に運営にあたりました。

当日は、小学生による「鳴子ソーラン」聖徳学園高校の学生さんに「沖縄エイサー踊り」を披露していただき、参加者の皆さんに楽しんでいただきました。



敬老の集い 受付、案内接待係

ボランティアハウス おびき「コスモスの里」だより 助成金で快適な座椅子に一新



新しい座椅子がいっぱい

ボランティアハウスおびき「コスモスの里」では、昨年九月に新しい座椅子(二〇脚)を購入し、利用者の皆さんに快適に活用してもらっています。座椅子の購入費用は、公益財団法人「太陽生命厚生財団」の社会福祉助成事業に応募し、採用された助成金(二十五万円)で賄いました。以前は、古いテーブル用椅子の足を短くした手製の座椅子を使っていたので、新しい座椅子は、「安定感があり、座り心地がいい」と、利用者の皆さんに好評です。

「コスモスの里」の長年の地道な活動が認められ、助成を受けたことに感謝しながら、今後も地域の高齢者の皆さんの絆づくりに励みたいと思っています。

「コスモスの里」で一緒に活動しませんか!
「利用者」「ボランティア」「出演者」募集中

社協Q&A(その2)

- Q、ボランティア活動をしたいのですが、支部社協でできますか?**
 - A、はいできます。コスモスの里をお手伝いして下さい。**
 - Q、福祉サービスを利用したいと思った時はどうすればよいのですか?**
 - A、各務原市社会福祉協議会は、生活や福祉に関するどんな相談でもお受け致します。お気軽に御相談して下さい。相談の内容が具体的な介護サービスや高齢者に関する事でしたら、地域包括支援センター飛鳥美谷苑に直接電話して下さい。お待ちしております。**
- 地域包括支援センター 飛鳥美谷苑
(058-371-3081)

会員募集お礼

尾崎地区では、1,416世帯の皆様が本年の社協会員になって頂き、ありがとうございました。

会費総額は、719,500円で、この35%が支部社協に交付されて支部の活動費となります。

会員(会費)募集にあたり、各自治会長さんや班長さんに大変お世話になり、ありがとうございました。

支部活動に永年御尽力頂きました有賀 尉副支部長が12月3日に御逝去されました。謹んで追悼の意を表します。

社協尾崎支部役員一同

「ぬくもりと やすあざあふれる 我が町尾崎」

ふれあい事業

ふれあい事業委員会は、地域の皆さんのふれあいや世代間の交流が進められるきっかけ作りの活動をしています。

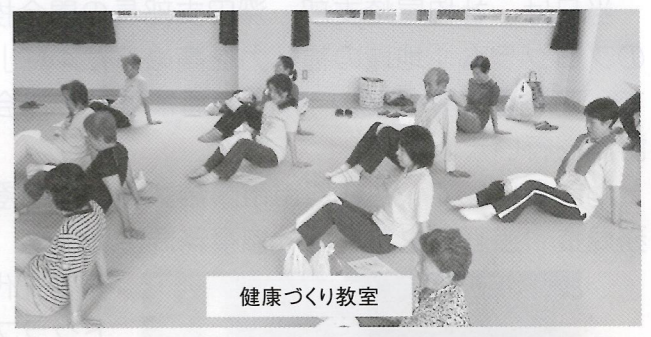
車椅子体験 6月28日(木)尾崎小学校6年生が、地域の人達の協力で、年配の人に車椅子に乗ってもらったり、お互いに替わりあって車椅子の操作方法や乗り方等を体験学習しました。道路に出て、段差を超えるのに苦労をしているグループもありました。参加者は約100人でした。



子供映画館 夏休みに入ったばかりの7月22日には、子供映画館を開館しました。参加したこどもたちは、冷房の効いた部屋で冷たいオヤツを食べながら『地球が動いた日』と『三年寝太郎』を鑑賞しました。参加者は45名程と少なかったのですが、「映画をやることを子供が知らなかった。知っていれば一緒に観にいったのに」という声が聞こえてきました。



健康づくり教室 9月8日(土)には、参加者25名で「健康づくり教室」を行いました。市出前講座の講師、文室文代さんの指導で転倒予防運動、腰痛予防運動、口腔体操(むせ予防)などにチャレンジしました。この「教室」は、御自身の健康について見直すきっかけにさせていただいたためのものです。



健康づくり教室

福祉啓発事業

地域の皆さんに福祉情報をお伝えして、福祉についての関心を高めていただく活動を行っているのが、福祉啓発事業委員会です。

午後には「コスモスの里」に参加している方々にも、この体操を指導してもらいました。『何でも相談』の講師は、地域包括支援センター飛鳥美谷苑の佐藤さんでしたが、「包括支援センターというものを初めて知った」という人もあって、中味の濃い一日でした。参加者34名。

認知症と生活習慣講演会 12月1日(土)『認知症と生活習慣』についての講演会を、講師に柴崎 亨先生(柴崎内科院長)をお招きして実施しました。認知症の予防には、偏らないバランスのとれた食事、適度な運動、生活習慣(酒、たばこ)の見直しが大切である。また「認知症では?」と思ったら一度は検査を受けるようお勧めしますとのおはなしでした。予想を超える多数の参加者があり、関心の高さがうかがえました。

介護予防講習会 介護予防のための『腰痛、膝痛対策』と『介護何でも相談』をセットにした「介護予防講習会」を7月19日(木)に行いました。

腰痛、膝痛対策体操では、椅子に座ったままで足腰の筋肉を鍛える方法を伝授してもらいました。



認知症と生活習慣講演会

「夢のある 明るいまちは 福祉から」